

事務事業名	議会連絡調整事務				担当	総務部 総務課 総務文書係		
政策名	H	施策体系外			増補版施策名			
施策名	1	施策体系外の事業			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	地方自治法					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和29年度～）		
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	1.一般管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	<p>議会定例会（年4回）、議会臨時会（随時）に係る事務。 (1) 各課から提案される議案について、事前に提案理由の妥当性等についての審査を行うこと。 (2) 議会からの質問通告に基づいた各課からの答弁書及び関係書類の取りまとめと調整を行うこと。 (3) 議員協議会の開催を要請し必要な案件の説明を行うこと。 (4) 議会開会中における議会事務局との各種連絡調整。</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 議会の日程を調整するとともに、議案の提案理由の妥当性をはじめ、文言の正誤等の内容審査及び質疑・一般質問等に対する答弁書の取りまとめと調整を行う。議員協議会の開催要請を行い、開催案件につき市長等の説明文等を作成する。 2年度計画 前年度と同様		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア 議会開催数	回	5	5	5	5	5
		イ 執行部提出議案等の数	件	104	107	111	110	100
		ウ 議員協議会開催数	回	7	12	11	12	12
		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 議会		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア 議会の開催数	回	5	5	5	5	5
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 適切な議会対応を行う。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア 適切に対応された定例会、臨時会の数	回	5	5	5	5	5
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 良好な行政運営		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
		ア 良好に行われた行政運営の割合	%	100	100	100	100	100
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	
	事業費計(A)		千円	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	900	900	900	900	
		人件費計(B)	千円	3,738	3,735	3,752	3,639	
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,738	3,735	3,752	3,639		

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	行政執行者と議会との適切な関係を確保するため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	